経橈骨動脈心臓カテーテル検査・治療クリニカルパス

様

		1水 カニーニュ 半口 /		
	カテーテル前日 /	カテーテル当日 /	カテーテル翌日 /	
観察	 - 医師が手の脈の触れを	検査後は、以下の事を観察します		
	みます	・カテーテルを入れたところの出血はないか		
	νς φ. γ. 	・嘔気や嘔吐はないか		
	<u>・尿はどれくらい出ているか</u> ◆ ななない、ないなってものです。 ************************************			
安静	・病院内であれば 制限ありません 奏	・検査後はトイレや洗面まで歩行可能です。(手	ま圧迫バンドで固定します)	
		・検査翌日は院内フリーとなります 		
		・足から穿刺が必要となった場合は安静状態の変更があります		
		約2~6時間は絶対安静、その後、約2~4時間は床上安静となります		
	医師が足の出血の有無を確認した後、トイレ歩行ができます			
	検査時間と食事の有無・摂取方法は以下の様になります			
食事	・持ち込みの食事は しないでください・水分制限が必要な方は 主治医の指示に従って ください	検査予定時間 朝食 昼食	夕食	
		□ 1・2番目の方 検査後,軽食 普通食	普通食	
		□ 3·4番目の方 軽食 普通食	普通食	
		□ 午後の場合 普通食 検査後軽食		
		・検査前の薬は少量の水で飲んでください		
		それ以降は、検査終了まで水分摂取を控えて	ください	
		・検査終了後は、造影剤の排泄を促すため、500mL以上飲水してください		
		ただし、医師より飲水制限の指示がある場合は、その範囲内となります		
	・検査後も椅子に座って食事ができます。			
\ \	- ・入浴できます	- 入浴はできません。	・シャワー浴ができます	
清潔	自宅で入ってきてください	カテーテル検査前にシャワー浴が可能です。	・退院翌日(退院後1日目)	
			から入浴できます	
排泄		•検査後は尿量を測定します。 		
処置		・検査後、圧迫バンドの上から出血状況の		
	足の付け根を除毛します点滴の針を挿入します	確認をします		
		・一定時間ごとに、看護師が圧迫バンドの空気を		
		抜いていきます	バンドをを外します	
		・足から穿刺した場合は、医師により		
		約2~6時間後に圧迫を解除します		
・持参薬とお薬手帳を ・インスリン注射は単位数が減る、または中止となることがあり			+>7 = 1.48 ± 1.1 ± ±	
薬物療法	提出してください			
	内容を確認し、医師の			
	指示する薬を内服して	□抗生剤点滴の方:抗土剤を検量ョロが32日		
	ください	・翌日の朝、医師の診察後に針を抜きます		
	- 21時より点滴が始まります サロン新、四師のお来及に断されてより			
説明	・病棟内を案内します・医師・看護師が検査の 説明をします・検査の同意書の確認を します	・検査室へ行く前に以下のものを外してください		
		(眼鏡・コンタクト・時計・ピアス・義歯・指輪・ネックレス・ヘアピン・化粧_		
		下着・靴下・マニキュア・補聴器)		
		・検査室へ行く前にトイレを済ませ、病衣、T字帯に着替えてください 「「」		
		・検査後、医師から検査結果についての説明があります		
		(冠動脈の狭窄の程度、削回検査からの変化・心臓の動きの様子・		
		/ N / - / - / - / - / - / - / - / -		
		・看護師から退院後の生活について説明があります ・ 食事について、3 ※について、3 ※20 日本についてなど		
		(食事について・入浴について・受診の目安についてなど) - カニーニョックロー * 実体が待機できる ようにしてください、初会により東院		
		・カテーテル当日、ご家族が待機できるようにしてください。都合により来院 出来ない場合は、看護師に伝え、電話連絡はできるようにしておいてくださ		
		山 小 ふ い 物 口 は、 伯 吱 叫 に 山 人 、 电		
指導	- 入院診療計画書を	・薬剤師により、薬の説明があります 🏻 🌃		
114	お渡します			
□ / #	心臓カテーテル検査が	検査後の合併症(穿刺部の出血・造影剤	退院後の生活の注意点が	
目標	安心して受けられる	アレルギーの出現など)が早期に発見され、 対加される	理解できる	
		対処される		